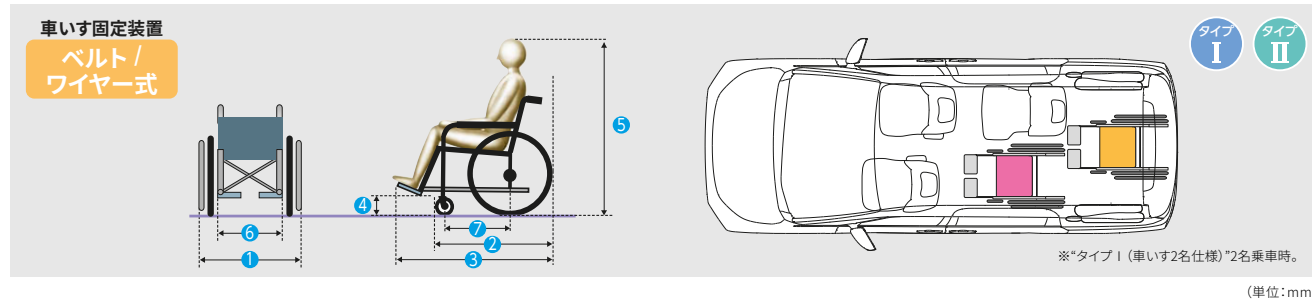


車いす乗車の目安

現在ご使用中の車いすをご利用になる場合、次項の注意事項とあわせて、車いすが下記寸法条件を満たしている必要があります。

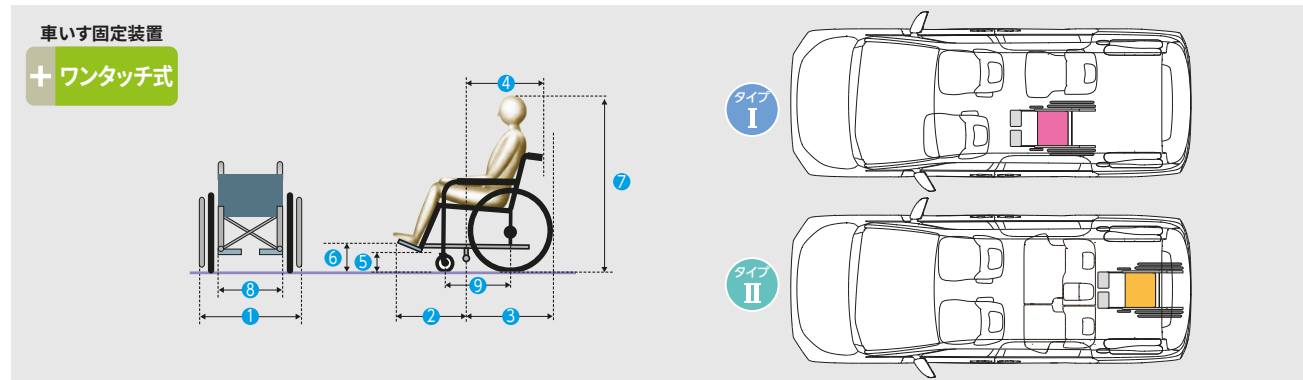


※タイプ I (車いす2名仕様) 2名乗車時。

(単位:mm)

車いすのタイプ	乗車位置	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
普通車いす	セカンド席 車いす1名乗車時	670以下	830以下	1,150以下	55以上	1,320以下	460以下*5	365以上*6
	車いす2名乗車時		720以下*3	980以下*3				
	サード席	825以下*4	720以下	980以下		1,350以下	485以下	
リクライニング機構付車いす *1	セカンド席	670以下	970以下	1,265以下		1,320以下	460以下*5	
引き出し式スロープ★ 電動車いす *1 シニアカー *1*2	セカンド席	825以下*4	750以下	1,000以下	1,350以下	485以下	—	
	サード席		1,195以下	1,195以下	—	—		

*1 固定には販売店装着オプションの車いす用固定ベルトが必要です。また、2名同時乗車はできません。 *2 シニアカーには着座できません。 *3 助手席シートを最前端までスライドさせた場合の数値です。この時、助手席の足元は非常に狭くなります。 *4 タイヤの車輪間は710mm以下(外寸)となります。 *5 センターコンソールありの場合は440mm以下となります。 *6 ショートスロープを選択した場合のみ、後輪のサイズが22インチの場合の数値です。



(単位:mm)

車いすのタイプ	乗車位置	①	②	③④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
普通車いす (簡易固定用アンカーバー付)	セカンド席	670以下	530以下*2	660以下*2	55以上	85以上*4	1,320以下	460以下*5	365以上*6
	サード席	825以下*3	490以下*2	520以下*2			1,350以下	—	

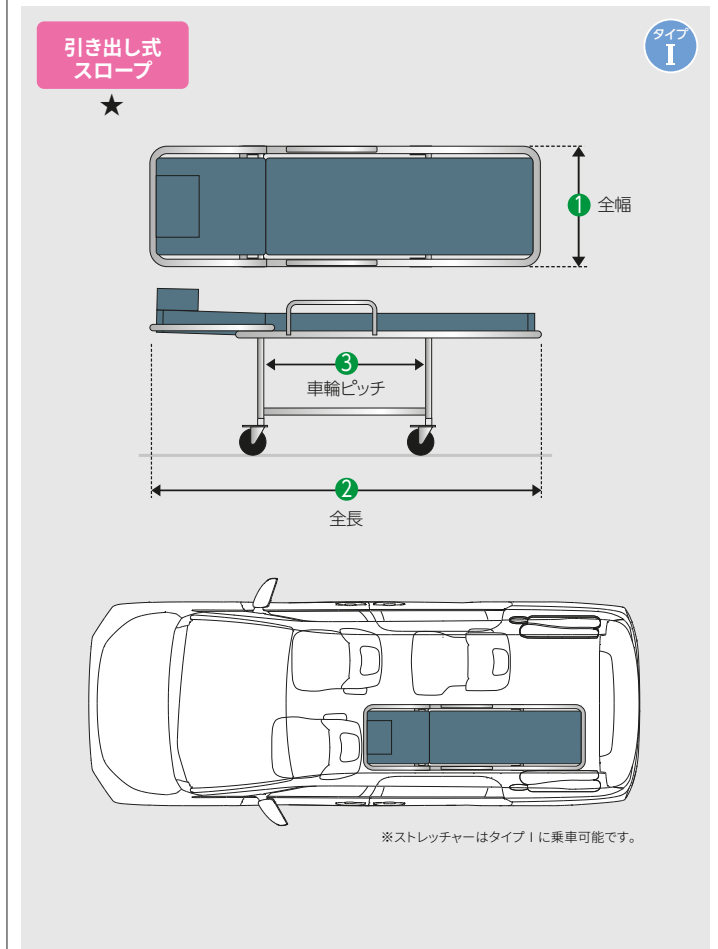
*1 ワンタッチ式のみ適用されます。 *2 ワンタッチ固定時のみ適用される寸法です。 *3 タイヤの車輪間は710mm以下(外寸)となります。 *4 車いすに人が乗った状態の高さとなります。 *5 センターコンソールありの場合は440mm以下となります。 *6 ショートスロープを選択した場合のみ、後輪サイズが22インチの場合の数値です。

● ショートスロープを選択した場合の乗車可能な車いすについて：ショートスロープは乗込高150mmの段差があり、かつ2段構造になっているため、固定式転倒防止バー付車いすや前後車輪間の低い位置にフレームやバッテリーなどがある車いす、6輪タイプの車いすでは乗車できない場合があります。 ● 上記の寸法内であっても、車いすの形状などによっては乗車できない場合があります。詳しくは販売店におたずねの上、お持ちの車いすを使用して実車でご確認ください。

★ ショートスロープは、電動車いす・シニアカーでの乗車はできません。簡易電動車いすは、バッテリーの位置により乗車できる場合があるため、後側の車いす固定装置(電動)の固定も合わせて、お持ちの車いすを使用して実車でご確認ください。

ストレッチャー乗車の目安

現在ご使用中のストレッチャーをご利用になる場合、ストレッチャーが下記寸法条件を満たしている必要があります。



※ストレッチャーはタイプ I に乗車可能です。

(単位:mm)

①	②	③	固定ベルトのタイプ (販売店装着オプション)
570以下	2,150以下	780以下	Aタイプ
		780を超える場合	Bタイプ

※ストレッチャーをフルクライミングさせて乗車する際、助手席シートを最前端までスライドさせる必要がある場合があります。この時、助手席の足元は非常に狭くなります。

※ストレッチャーの固定には、販売店装着オプションの車いす用固定ベルトが必要です。

ストレッチャーの種類や車輪ピッチによって、固定ベルトのタイプおよび後側の固定位置が異なります。

● 上記の寸法内であっても、ストレッチャーの形状、オプション装着の状況などによっては乗車できない場合があります。詳しくは販売店におたずねの上、お持ちのストレッチャーなどを使用して実車でご確認ください。

● "タイプ II" はストレッチャーでの乗車はできません。 ★ ショートスロープは、ストレッチャーでの乗車はできません。

ご使用に際して、ご確認いただきたいこと。

①スロープは、水平で平坦な路面での使用が条件となります。

※砂利道等の凹凸面のある路面ではバンパー表面を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

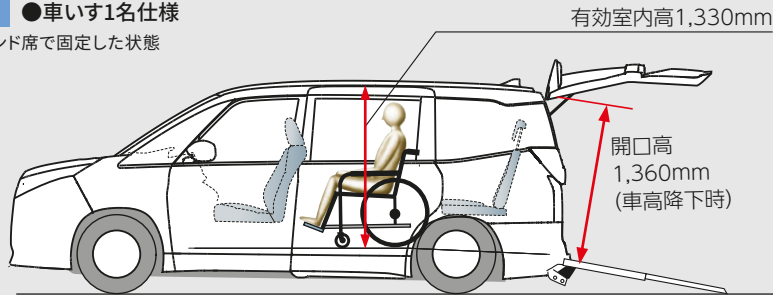
②引き出し式スロープは車いす+車いす利用者+介助の方+荷物の合計重量が200kg以下、ショートスロープは車いす+車いす利用者+荷物の合計重量が150kg以下であることをご確認ください
(スロープの許容重量は引き出し式スロープが200kg、ショートスロープが150kgです)。

③首が曲がらない方の場合、有効室内高ではなく、開口高(1,360mm)を乗車の目安にしてください(サード席乗車時)。

タイプ別注意事項

タイプⅠ ●車いす1名仕様

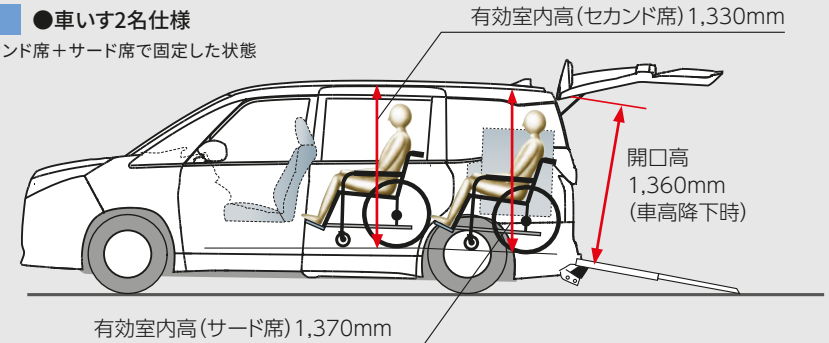
車いすをセカンド席で固定した状態



- セカンド席に固定する車いすの後輪中央を、車いす停止線の後側に合わせて固定してください。

タイプⅠ ●車いす2名仕様

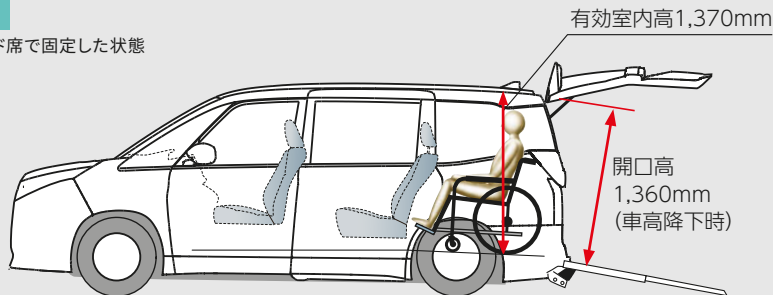
車いすをセカンド席+サード席で固定した状態



- 助手席を前方へスライドしてください(助手席乗車の方、セカンド席に固定する車いすの方、およびサード席に固定する車いすの方の足元が狭くなります)。
※このとき助手席を最前端へスライドするとセカンド席に固定する車いすの方の足元は広くなりますが、助手席の足元は非常に狭くなります。
- セカンド席に固定する車いすの後輪中央を、車いす停止線の前側に合わせて固定してください。
- サード席に固定する車いすは、しっかり前まで乗り込んでください。スロープが格納できなくなります。

タイプⅡ

車いすをサード席で固定した状態



- セカンドシートを前方へスライドしてください(セカンド席の足元が狭くなります)。
※セカンドシートを前方へスライドしないと車いすの方の足元が狭くなります。
- 車いすはしっかり前まで乗り込んでください。スロープが格納できなくなります。